

# 令和4年度 三原市市民防災訓練

## 実施報告書



令和5年3月

三原市危機管理監危機管理課



# 令和4年度三原市市民防災訓練 実施報告

## 1 訓練名称

令和4年度三原市市民防災訓練 ～平成30年7月豪雨災害を忘れない～

## 2 実施日時

令和5年1月29日（日）9：00～12：00

## 3 訓練場所

(1) 宮浦中学校体育館（宮浦五丁目29番1号）

(2) 自主防災組織が訓練開設する避難所等

茅田老人集会所（本郷町船木2514番地9）

上徳良コミュニティホーム（大和町上徳良1528番地1）

黒郷コミュニティホーム（久井町和草2042番地1）

高坂町コミュニティホーム（高坂町真良1813番地1）

玉城公民館（小泉町5270番地）

本町中央公園（本町三丁目5番6号）

八幡町コミュニティホーム（八幡町宮内277番地）

吉田コミュニティホーム（久井町吉田512番地）

(3) 市民避難行動促進「三原スタイル」構築連携協議会構成企業・団体及び市との協定締結企業の店舗・事務所等

## 4 訓練の内容及びねらい

(1) 市民避難訓練

避難情報発令時の避難行動を実践するとともに、自主防災組織による地域住民への避難の呼び掛け方法の確認を行う。

(2) 避難所運営訓練

自主防災組織と市職員が協同して、避難者受付などの避難所運営を実施する。

(3) 防災講演会・避難所体験

実際の避難や避難所備蓄品を知ること、避難の際に必要な持出品を確認するなど、具体的な避難のイメージを持ってもらう。

(4) 避難・ライフライン情報発信訓練

避難・ライフライン情報の共有、市民への発信方法の確認を行う。

(5) 救援物資輸送訓練

企業・団体と連携して、災害時の救援物資の調達輸送の流れを確認する。

## 5 訓練の想定条件

前日の地震発生で地盤が緩んでいるところに大雨が重なり、市内の河川がはん濫危険水位に到達し、また、土砂災害警戒情報も発表された。

このため、三原市災害対策本部から、午前9時、市内全域を対象に【警戒レベル4】避難指示を訓練発令する。

## 6 訓練参加人数

合計 324 人

内訳 宮浦中学校避難者 123 人、自主防災組織避難所への避難者 201 人

※ 訓練運営スタッフ（30 人）及び訓練参加機関の参加者の人数は除いている。

## 7 訓練参加機関（一部所属の重複有り）

### (1) 自主防災組織

青葉台自主防災会、茅田地区自主防災会、上徳良自主防災会、黒郷自主防災組織、新倉町防災会、新倉ハイツ防災会、高坂町防災会、田野浦自主防災会、玉城区自主防災会、中之町下町内会「防災会」、沼田町自主防災会、東本通第三町内会自主防災会、本町防災会、宮浦中央町内会防災会、宮沖四丁目自主防災会、八幡町防災会、吉田区生活安全推進協議会

### (2) 三原市防災ネットワーク

三原市ボランティア連絡協議会、三原市赤十字奉仕団、三原市社会福祉協議会、三原市ボランティア・市民活動サポートセンター、三原市福祉のまちづくり推進協議会、三原市自主防災組織連絡協議会、ちゃんくす、三原市防災士ネットワーク、三原アレルギーの会ひだまり、三原テレビ放送(株)、(株)FMみはら、三原市消防本部、三原市

### (3) 市民避難行動促進「三原スタイル」構築連携協議会

三原テレビ放送(株)、(株)FMみはら、道の駅みはら神明の里、道の駅よがんす白竜、イオンリテール(株)、(株)フジ、(株)フレスタホールディングス、マックスバリュ西日本(株)、生活協同組合ひろしま、三原ホテル旅館同業組合、(株)八天堂、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、中国電力ネットワーク(株)、広島ガス(株)、西日本電信電話(株)、糸崎倉庫(株)、佐川急便(株)、城南運輸(有)、(株)上組、土生商船(株)、三原交通(株)、城南観光(有)、三原市社会福祉協議会、三原市老人福祉施設協議会、三原市介護支援専門員連絡協議会、三原市地域包括支援センター、三原市防災ネットワーク、三原市防災士ネットワーク、三原市自主防災組織連絡協議会、三原市

### (4) その他協定締結企業

(株)テレビ新広島、広島テレビ放送(株)

### (5) 三原市（主催）

## 8 訓練の実施状況及び振り返り

### (1) 市民避難訓練及び避難所運営訓練

午前9時の避難指示の発令を受け、市民が宮浦中学校又は自主防災組織が地域で開設する避難所へ避難した。

新倉ハイツ防災会では、避難の際に役員が5班に分かれて住民に電話連絡・個別訪問するなど、地域での「呼び掛け避難」を実践した。

宮浦中学校では、避難者受付などの避難所運営を自主防災組織と市職員が協同で実施した。

#### 【参加者数】

	避難場所	開設自主防災組織	避難者数	
1	宮浦中学校	公設 ※ 新倉町防災会, 新倉ハイツ防災会及び宮浦中央町内会防災会が避難所運営に参加	123人 ※ スタッフ30人除く	
2	茅田老人集会所	茅田地区自主防災会	10人	小計 201人
3	上徳良コミュニティホーム	上徳良自主防災会	17人	
4	黒郷コミュニティホーム	黒郷自主防災組織	11人	
5	高坂町コミュニティホーム	高坂町防災会	50人	
6	玉城公民館	玉城区自主防災会	10人	
7	本町中央公園	本町防災会	40人	
8	八幡町コミュニティホーム	八幡町防災会	20人	
9	吉田コミュニティホーム	吉田区生活安全推進協議会	43人	
合 計			324人	

#### 【訓練参加団体の振り返り】

##### ○宮浦中学校への避難

良かった点	<b>【呼び掛け避難の実践】</b> ○自主防災組織が地域で呼び掛け避難を実施し、避難に必要な時間を把握できた。
課題	<b>【避難者の受付】</b> ○避難所受付の運営など、自主防災組織と市職員の役割分担が曖昧である。 ○多くの避難者に受付方法など伝達するには、ホワイトボードなどで掲示する方が良い。 <b>【避難所の環境】</b> ○靴の脱着が難しい高齢者などのために、出入口に椅子を設置するなど配慮が必要である。 ○車いす利用者に対し、体育館西側入口の既設スロープは滑りやすく段差があり危険である。 (また、南側入口から車いす利用者が進入する場合、段差解消が必要である。) <b>【非常持出品に履物を追加】</b> ○スリッパなど準備したが、実際の避難時は非常持出品として持参するよう伝える方が良い。 <b>【避難所内での安全対策】</b> ○ストーブに囲いをするなど、子どもの避難者等も想定した安全対策が必要である。

○自主防災組織が開設する避難所への避難

<p>良かった点</p>	<p>【防災を考える機会の創出】</p> <p>○地域住民が集まり，南海トラフ巨大地震など，災害について一緒に考える機会となった。</p> <p>【地域の連絡手段の確認】</p> <p>○町内告知放送で，市からの情報を地域内で伝達する訓練ができた。</p>
<p>課題</p>	<p>【冬季避難の課題】</p> <p>○避難所への進入路が凍結しており，融雪剤の準備等の必要性を感じた。</p>

【訓練の様子】



○午前9時 避難指示発令



○避難情報発令を受けて，避難訓練開始



○靴袋に靴を入れて，体育館へ避難



○受付の様子



○避難者カードを記載台で記入し，提出



○地元自主防災会と市職員で受付作業を分担





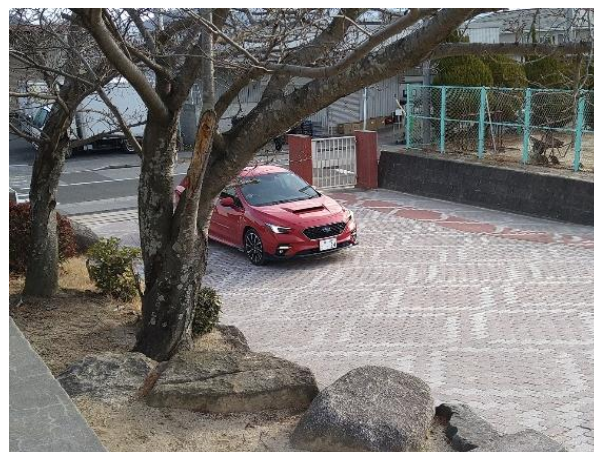
○車いす利用者も避難



○南側入口（階段）で昇降スロープを利用



○冬の避難のため、コンパクト毛布を配付



○車での避難

◎避難指示発令にあわせて、各自主防災組織でも避難訓練等を実施。



○高坂町防災会（役員で集合し、備品等を確認）



○上徳良自主防災会（コミュニティホームへ避難）

## (2) 防災講演会・避難所体験

宮浦中学校体育館への避難者（123人）を対象に、災害から、いつ、どのように避難するべきか、ということについての「防災講演」と、実際の避難所備蓄品等を知ること、避難の際に必要な持出品を備えてもらうための「避難所体験」を実施した。

三原市防災ネットワークの参加のもと、防災グッズやアレルギー対策、障害のある人のための備えなどを含め、幅広い分野の内容について参加者に体験してもらう機会とした。

### 【実施内容】

#### ○防災講演会（9：55～10：30）

演題： 命と暮らしを守るために ～ひろしまマイ・タイムラインづくり～

講師： 三原市防災士ネットワーク 竹原 茂 会長

#### ○避難所体験（10：30～11：30）

《コーナー1》 段ボールベッド組立体験

避難所が長期化した時などに使用される、段ボールベッドの組立体験

《コーナー2》 市の避難所にある備品体験

テント型パーテーション、エアベッド、簡易トイレなど、市避難所に備蓄する物品を体験

《コーナー3》 三原市防災ネットワークコーナー

防災グッズ、アレルギー対策、避難行動要支援者や障害のある人のための物品や備え及び平成30年7月豪雨災害パネル等についての展示・説明を実施

（三原市社会福祉協議会、三原市福祉のまちづくり推進協議会、三原市防災士ネットワーク、三原アレルギーの会ひだまり、三原市消防本部を中心に展示実施。）

※ このほか、災害時に利用する応急給水タンク、マンホールトイレを展示

### 【訓練参加団体の振り返り】

良かった点	【参加者の関心の高さ】 ○展示を見て、参加者が具体的な質問を色々してくれた。
課題	【避難所備品の管理】 ○訓練で使用した備品（マンホールトイレなど）に劣化が見られた。

#### ※ 訓練実施上の課題

○体育館での避難所体験は、個々の説明者ごとにマイクや拡声器があった方が良い。

○訓練時は、屋外のマンホールトイレなど、説明者がいない展示には説明文などの準備が必要である。



【訓練の様子】



○岡田市長あいさつ（開会）



○防災講演会（竹原講師の紹介）



○講演を聴く避難者



○段ボールベッドの組立体験



○段ボールベッドの感触を体験



○市が備蓄する食料品の紹介



○エアベッドの空気入れを体験



○平成30年7月豪雨災害のパネル展示・紹介





○役立つ防災グッズの紹介



○アレルギーに関する紹介（使用材料の表示など）



○障害のある人のための備品（手すり付きトイレ等）



○避難行動要支援者に係る展示（個別避難計画の作成等）



○ガス式発電機の運転体験



○宮浦中学校 会場俯瞰



○マンホールトイレの展示



○応急給水タンクの展示

### (3) 避難・ライフライン情報発信訓練

災害時に迅速に市民へと周知すべき、避難情報及びライフライン情報について、災害対策本部と「三原スタイル」参加企業・団体及び協定締結先企業が連携して、情報共有及び市民周知を行う訓練を実施した。

#### 【各訓練内容及び参加組織】

情報種別	訓練内容	参加組織
避難情報 ※ 午前9時発信	避難情報の発信	災害対策本部
	避難情報の受信 (Eメール)	・「三原スタイル」参加企業・団体 (29 組織) ・(株)テレビ新広島, 広島テレビ放送(株)
	テレビ・ラジオによる周知	三原テレビ放送(株), (株)FMみはら
	店内放送による周知	イオンリテール(株), (株)フジ, (株)フレスタホールディングス, マックスバリュ西日本(株)
	店内等掲示による周知	道の駅みはら神明の里, 道の駅よがんす白竜, 三原ホテル旅館同業組合
	事業所内掲示による周知	生活協同組合ひろしま, (株)八天堂, 城南観光(有)
ライフライン情報 (電気・ガス・水道) ※ 午前10時発信	災害対策本部(市役所)への リェゾン派遣	中国電力ネットワーク(株)
	ライフライン情報の発信	中国電力ネットワーク(株), 広島ガス(株), 三原市水道部
	ライフライン情報の受信 (Eメール)	・「三原スタイル」参加企業・団体 (29 組織) ・(株)テレビ新広島, 広島テレビ放送(株)
	テレビ・ラジオによる周知	三原テレビ放送(株), (株)FMみはら
	店内放送による周知	イオンリテール(株), (株)フジ, (株)フレスタホールディングス, マックスバリュ西日本(株)
	店内等掲示による周知	道の駅みはら神明の里, 道の駅よがんす白竜, 三原ホテル旅館同業組合
	事業所内掲示による周知	生活協同組合ひろしま, (株)八天堂, 城南観光(有)
	市メール・SNS・HPによる 周知	災害対策本部

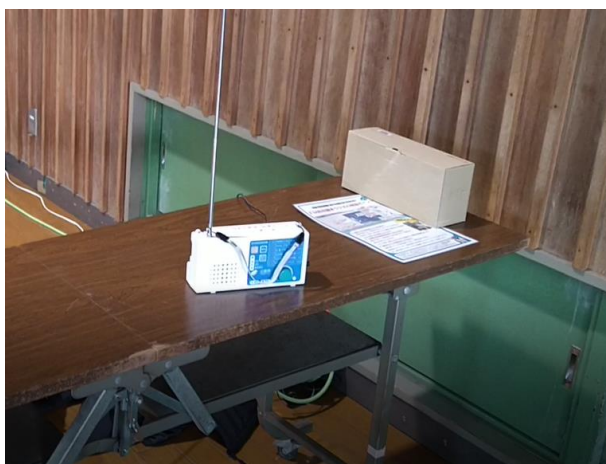
※ 各機関からの提供情報は、別紙資料3のとおり



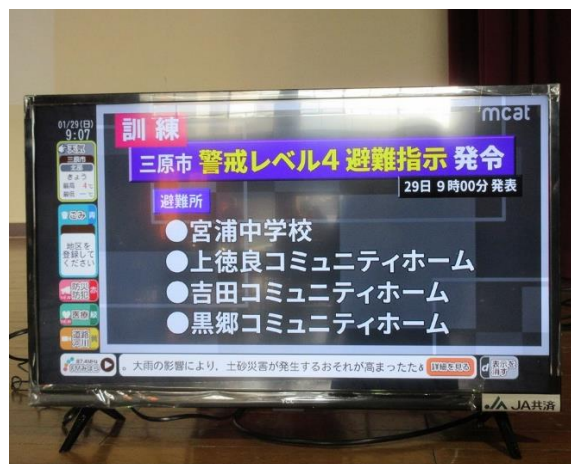
【訓練参加団体の振り返り】

良かった点	<p>【情報内容の分かりやすさ】</p> <p>○ライフライン情報に地図や画像などが添付してあり、分かりやすかった。</p>
課題	<p>【メール連絡の難点】</p> <p>○メールによる情報伝達は、確認が遅れる可能性がある。</p> <p>○メーリングリストで情報共有する場合、連絡先の変更などを随時把握する必要がある。</p> <p>○WEB フォームや LINE など、メール以外の情報共有手段も検討した方が良い。</p> <p>【情報提供の様式統一】</p> <p>○現場で店内放送等を実施しやすいよう、統一的な様式で情報提供した方が良い。</p> <p>【情報提供ファイルの展開】</p> <p>○災害時の情報連絡は、伝達に緊急を要するため、パスワードを付与しない方が良い。</p>

【訓練の様子】



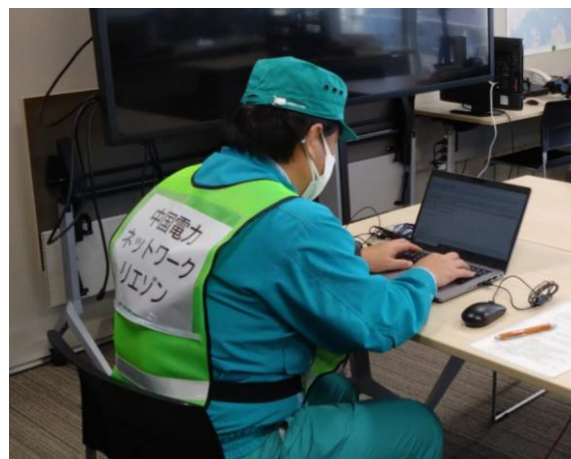
○FMみはらが特別放送に切替え、避難情報等を放送



○三原テレビも特別放送に切替え



○実際の災害時と同様に河川カメラなどを表示



○中国電力ネットワークから市役所へリエゾン派遣





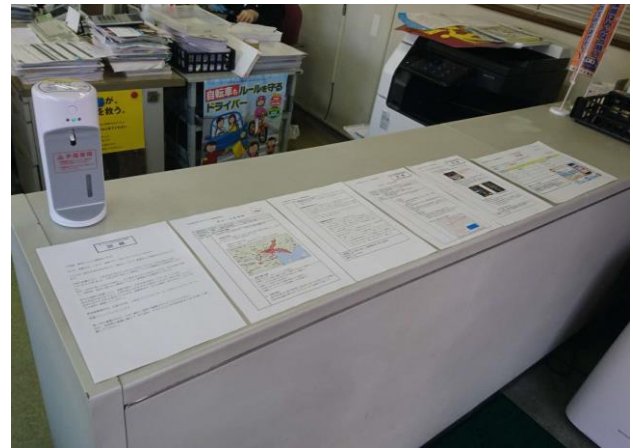
○午前 10 時から、ライフライン機関からの情報を発信



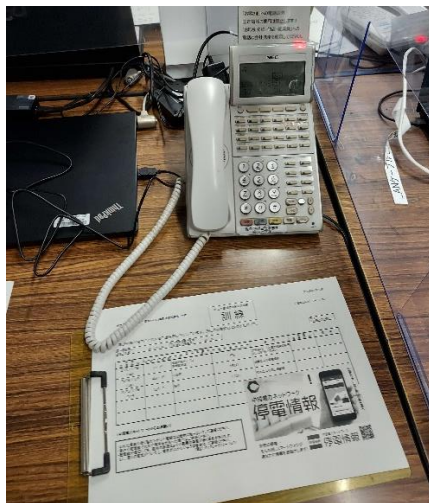
○店内放送による情報の市民周知（フレスタ）



○店内掲示による情報の市民周知（イオン）



○事業所内掲示による情報周知・共有（城南観光）



○事業所で情報共有し問合わせに備え（イオン）



○災害対策本部からの情報発信（HP・メール・SNS）

#### (4) 救援物資輸送訓練

次の①～⑤の流れにより、避難所である宮浦中学校に救援物資を調達・輸送し、避難者全員で物資を運搬・配付する訓練を実施した。

- ①避難所から災害対策本部への物資要請
- ②災害対策本部から物資調達企業（協定締結先）への物資調達の通信訓練
- ③災害対策本部から物資輸送企業（協定締結先）への物資輸送依頼の通信訓練
- ④物資輸送企業による避難所への救援物資輸送
- ⑤救援物資の避難所内への運搬及び避難者全員への物資配付

※ 輸送物資：アルファ米，ビスケット，飲料水，経口補水液

#### 【各訓練内容及び参加者】

手順	訓練内容	参加者
①	災害対策本部への物資要請	避難所運営職員，災害対策本部
②	物資調達の通信訓練	イオンリテール(株)，(株)フジ，(株)フレスタホールディングス，マックスバリュ西日本(株)，生活協同組合ひろしま，佐川急便(株)，災害対策本部
③	物資輸送依頼の通信訓練	佐川急便(株)，城南運輸(有)，災害対策本部
④	救援物資の輸送	佐川急便(株)，城南運輸(有)
⑤	救援物資の運搬及び配付	佐川急便(株)，城南運輸(有)，宮浦中学校避難者，避難所運営職員

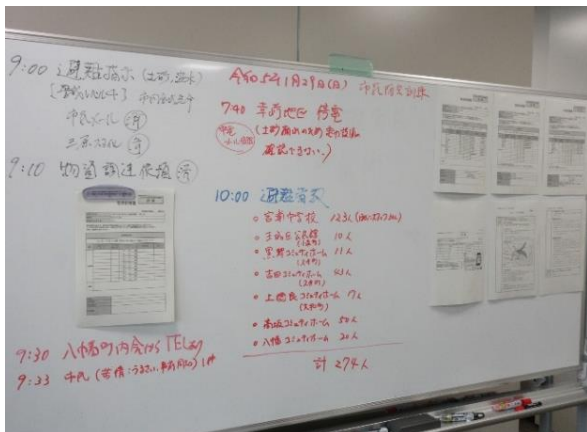
※ 通信訓練様式は，別紙資料4のとおり

#### 【訓練参加団体の振り返り】

課題	<p>【輸送のための事前確認】</p> <p>○実際の災害時には，道路状況等も含めて市と輸送業者の事前協議や確認が必要である。</p> <p>【避難所での物資配付の課題】</p> <p>○避難者への物資配付時に混乱が生じたため，円滑に配付するための案内が必要である。</p>
----	---



【訓練の様子】



○災害対策本部で、調達依頼の回答を掲示・共有



○救援物資到着の様子（佐川急便トラック）



○救援物資荷下ろしの様子（城南運輸トラック）



○避難者が協力して物資を運搬



○リレー形式で列を作って物資運搬



○物資の種類ごとに分けて配置

## 9 市民アンケート結果

### (1) 回答数

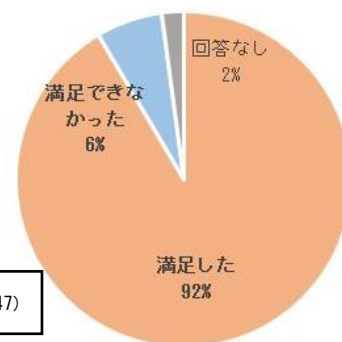
47 件（宮浦中学校避難者 123 人に対し回収率約 38%）

### (2) 回答方法

アンケート用紙提出 40 件，WEB 回答 7 件

### (3) 主な回答

次表のとおり



設問	主な回答
1 良かった点，参考になった点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講演で過去災害の状況が詳しく聞け，参考になった。</li> <li>・キキクルやマイ・タイムラインなど，初耳のことが多かった。</li> <li>・体験コーナーで，実際に物品を手にしたたり，見たりできて良かった。</li> <li>・避難所にあるものを知り，自分で用意しなければいけないものが多いことが分かった。</li> <li>・段ボールベッドを作るのが楽しかった。</li> <li>・避難所生活をイメージできるので，教育の一環として子ども達にも体験させたい。</li> </ul>
2 今後訓練に取り入れてほしい内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・炊き出し訓練</li> <li>・地震，津波を想定した避難訓練</li> <li>・AEDの使い方</li> <li>・ペットの避難</li> <li>・高齢者や要配慮者が避難するときの補助の仕方</li> <li>・避難所生活を体験する訓練（食事・トイレ・就寝・掃除など）</li> </ul>
3 その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもの参加が少ないため，子どもも楽しめるコーナーを用意してほしい。（一方で，子どもが騒いでいても参加しやすい雰囲気だった，との回答もあり。）</li> <li>・体育館の温度計がなかった。暑いときには，熱中症の危険などが示せるとよい。</li> <li>・寒い時期の実施でない方がよい。</li> </ul>

## 10 報道取材

- (1) FMみはら 1/30 朝放送
- (2) 中国新聞 1/30 掲載
- (3) テレビ新広島 1/29 夕方放送（YouTube 上公開）  
<https://www.youtube.com/watch?v=d4xttkfqaGk>
- (4) 広島テレビ 1/29 夕方放送（YouTube 上公開）  
<https://www.youtube.com/watch?v=u3CGfdu5XkM>
- (5) 三原テレビ 2/2 放送
- (6) 読売新聞 1/30 掲載

## 11 関連資料

- 資料 1 訓練参加団体の振り返り用紙
- 資料 2 市民防災訓練アンケート用紙
- 資料 3 ライフライン各発信情報
- 資料 4 物資調達・輸送通信訓練 各送信文
- 資料 5 宮浦中学校会場図
- 資料 6 訓練概要説明資料（1月17日定例記者会見スライド）
- 資料 7 訓練周知チラシ



三原市危機管理監危機管理課 行

(FAX 0848-67-6164)

(メール [shiminseikatsu@city.mihara.hiroshima.jp](mailto:shiminseikatsu@city.mihara.hiroshima.jp) )

市民防災訓練 (R5. 1. 29) の振り返りについて (回答)

企業・団体名
担当者職氏名
災害対応に対する気づき, 改善点等 (例: ○○のようなより効率の良い連絡手段を使用してはどうか) ・
訓練内容に対する気づき (例: ○○をもっと◇◇すれば良かった) ・
その他 ・

※ 令和5年2月6日までにご回答ください。



# 参加者アンケート

資料2

本日は、市民防災訓練にご参加いただき、誠にありがとうございました。  
今後の訓練の参考とするため、次のアンケートにご協力をお願いします。

※お帰りの際に、記入した本紙を受付に提出いただくか、本紙をお持ち帰り  
いただき、QRコードでアンケートに回答してください。

QRコードで回答いただく方は、  
こちら→



## 【アンケート内容】

Q1 今回の市民防災訓練の内容は満足いくものでしたか。  
(どちらかに○をつけてください。)

満足した      満足できなかった

Q2 今回の訓練で、良かった点、参考になった内容は何か。

[ ]

Q3 今後、訓練してみたいことや市民防災訓練に取り入れてほしい内容を教えてください。 例：津波避難訓練、炊き出し訓練、AEDの使い方など…

[ ]

Q4 その他にも気づきやご意見がございましたら、ご記入ください。

[ ]

ご協力ありがとうございました。アンケート回収箱へご提出ください。





市民避難行動促進「三原スタイル」構築連携協議会 各位

R5.1.29三原市市民防災訓練

## 訓練

中国電力ネットワーク（株）

事故停電の発生により大変ご迷惑をおかけしています。現在の停電状況は次のとおりです。

本日  
10時00分現在

現在停電中の お客さま数	約 640 戸	延べ停電お客さま数 (既復旧分を含む)	約 戸
-----------------	---------	------------------------	-----

停電発生時刻	現在停電中			原因	復旧時刻	備考
	お客さま数	地域	復旧見込み			
2023/1/29 7:40	70 戸	幸崎町能地7丁目 幸崎町能地	不明	土砂崩れにより電力設備の被害 状況が把握できない		
2023/1/29 8:30	450 戸	小坂町	15:00	地震により電柱傾斜		
2023/1/29 9:45	120 戸	深町	17:00	倒木により高圧線断線		

## 〈中国電力ネットワークからのお願い〉

- ・切れた電線や低く垂れ下がった電線には絶対に触らないで、ご連絡ください。
- ・電柱や配電線で火花や異常音があった場合はご連絡ください。
- ・配電線が復旧しても、個別の原因により小範囲の停電が続く場合があります。もし、周りの電気がついて、電気が点かないような場合は、ご連絡ください。  
(電話:0120-512-169)



突然の停電…  
そんな時、スマートフォンが  
あなたに情報をお届けします!



中国電力ネットワーク  
停電情報



(市民避難行動「三原スタイル」構築連携協議会)

## 防災・災害情報

訓練

発信日時	2023年 1月 29日 (日) 10時 00分		
発信者	所属	広島ガス株式会社	名前
情報種別	都市ガス供給停止情報		
内容	<p>2023年 1月 29日 (日) 7時00分 時点の情報です。</p> <p>1 供給停止地域</p> <p>昨日発生しました地震により、都市ガス導管の被害が予測される地域について、安全のため、I2012ブロックの都市ガス供給を停止しました。</p> <p>供給停止したお客さまの数 : 3, 276戸 供給停止した地域 : 広島県三原市の一部 (西野川より北東の地区)</p>  <p>2 復旧作業の手順</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①お客さま宅一軒、一軒のメーターガス栓を閉める。</li> <li>②作業にとりかかる地区と隣接する地区との境界のガス管をすべて閉鎖する。(ブロック化)</li> <li>③ブロック化された地区内の低圧ガス管に異常がないか確認する。</li> <li>④破損している低圧ガス管を修理する。</li> <li>⑤お客さま宅一軒一軒のガス設備に異常がないか確認する。</li> <li>⑥破損しているメーター・ガス管を修理し、安全を確認する。</li> </ol> <p>3 今後の見込</p> <p>復旧作業手順に則り順次作業を進め、悪天候やガス管への水の浸水など大きな影響がなく復旧作業が順調に推移すれば、2月6日(月)までに全面復旧する見通しです。</p>		

#### 4 報道機関の皆さまへのお願い

二次災害発生防止の観点から、ガスの安全に関して、以下の内容を報道していただきますようお願いいたします。

##### 《供給停止地区の皆さまへ》

- ・ガスもれなどによる二次災害を防止するため、ガスの供給を停止させていただきました。安全のため、器具栓、ガス栓、メーター栓をすべて閉めてください。
- ・ガスの供給再開にあたりましては、広島ガスの係員がお伺いし、お客さまのガス設備の安全を確認させていただきますので、それまではガスをご使用にならないようお願いいたします。
- ・大変ご不便をおかけいたしますが、復旧につきましては、全力をあげてまいりますので、よろしくご協力のほどお願い申し上げます。

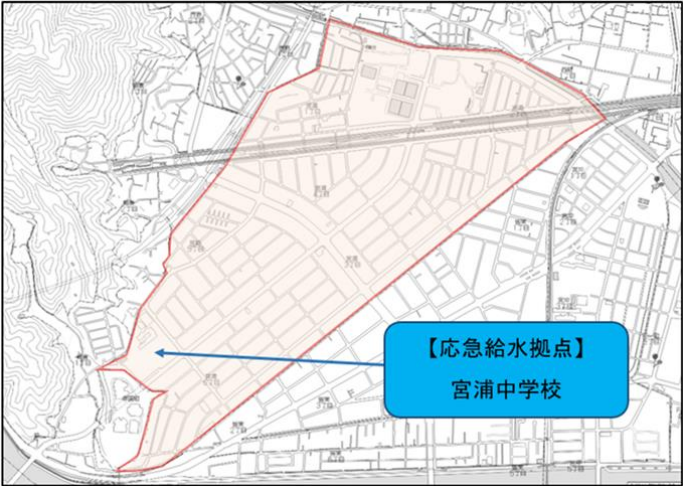
##### 《供給継続地区の皆さまへ》

- ・現在、警戒体制をとりながら、ガスの供給を続けております。
- ・万一、ガスのにおいがしたら火は使用しないでください。ガス栓、器具栓、メーターガス栓を閉め、窓を開け、すぐに最寄りの広島ガス（広島・東広島地区：TEL082-251-3219、呉地区：TEL0823-22-3219、尾道・三原地区：TEL0848-22-3219）にご連絡ください。その際、スイッチから火花がとぶおそれがありますので、照明や換気扇など、電気のスィッチには絶対手を触れないでください。
- ・ガスのにおいがしない場合でも、ガス給湯器の排気筒のはずれなど、ガス機器の給排気設備に異常がある場合には、ガス機器の使用はやめてください。
- ・なお、地震によってマイコンメーターの安全装置が作動し、ガスが止まっていることがあります。この場合、ガスメーター正面の赤いランプが点滅しています。メーターに取り付けてある復帰操作説明書を参考に、ご自分で復帰操作ができます。復帰操作をしてもガスが出ない場合は、最寄りの広島ガス（広島・東広島地区：TEL082-251-3219、呉地区：TEL0823-22-3219、尾道・三原地区：TEL0848-22-3219）へご連絡ください。

依頼事項  
該当する  
番号に○

- ① 周知・伝達 2 会員間情報共有（周知・伝達不要）  
3 その他（ ）

### 防災・災害情報

発信日時	令和5年1月29日(日) 10時00分			
発信者	所属	三原市水道部	名前	管理課総務係
情報種別  (該当する番号に○)	[記入例] 停電情報 <input checked="" type="checkbox"/> 断水情報 <input type="checkbox"/> ガス供給停止情報 臨時閉店情報 <input type="checkbox"/> 店舗再開情報 <input type="checkbox"/> 道路情報 <input type="checkbox"/> 渋滞通行止等 社内災害時態勢情報			
内 容	<p>令和5年1月29日(日) 7時00分 時点の情報です。</p> <p>1 断水地域 宮浦全域 ※昨日の地震で水道管が損傷したことにより、現在、この地域で断水しております。</p> <p>2 今後の見込み  <ul style="list-style-type: none"> <li>現在、復旧作業を進めていますが、断水解除の時間を見込めない状況です。</li> <li>断水解除の時間や応急給水拠点の最新情報は、三原市防災メールから水道部ホームページにアクセスして、ご確認ください。</li> </ul> </p> <p>3 応急給水拠点 宮浦中学校 ※できる限り給水袋などの容器をご持参ください。 容器をお持ちでない方は、給水場所にてお申し出ください。 給水袋は、数に限りがありますのでご了承ください。</p> <p>【断水地域・応急給水拠点の位置図】</p>  <p>The map displays a residential area with a red outline indicating the water outage zone. A blue callout box with an arrow points to a specific location within the area, labeled '【応急給水拠点】 宮浦中学校' (Emergency Water Distribution Point: Miyaura Junior High School).</p>			



# 訓練

## 4 注意していただきたいこと

### ◆ 水漏れのご確認をお願いします。

①住宅及び敷地内の給水管が壊れて漏水が発生していないか、確認してください。

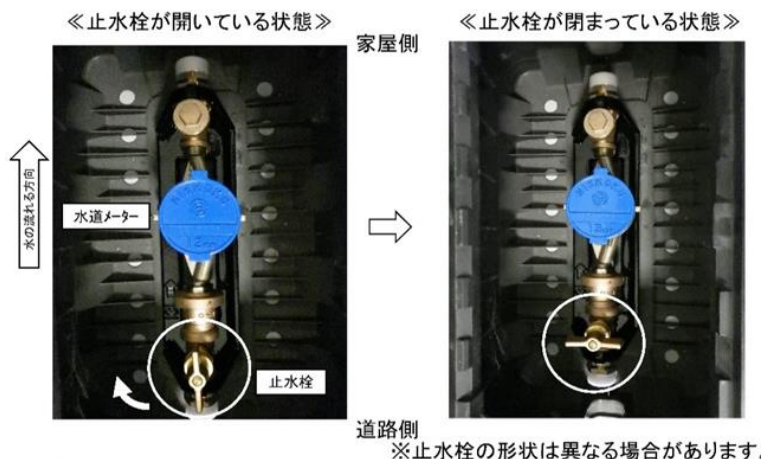


家の蛇口を全て閉めても羽根車が回っていたら漏水の可能性あります。

②漏水を確認できたら、水道メーター手前の止水栓を閉め、指定給水装置工事事業者へ修理の依頼をしてください。

※止水栓の位置が不明な時は、水道部へお問い合わせください。

※指定給水装置工事事業者の連絡先は、水道部ホームページでご確認下さい。



### ◆ 避難される時は・・・

避難される時は、住宅内の全ての蛇口を閉めるか、水道メーター手前にある止水栓を閉めてください。

※ 蛇口を開けたまま避難されると、断水が解除になった時に、蛇口や破損した給水管から漏れた水により、住宅の損傷につながる可能性があります。

### ◆ 情報提供をお願いします。

道路上で、漏水の疑いがある時は、水道部へご連絡ください。

依頼事項

- 1 周知・伝達
- 2 会員間情報共有 (周知・伝達不要)
- 3 その他 ( )





## 物資依頼書

令和5年1月29日

9時10分

依頼者(担当)	三原市災害対策本部(危機管理課)
連絡先	0848-67-6066
物資配付対象人数	500人

防災協定に基づき、食料等の物資を調達したいので、提供可能個数等をご回答ください。  
※上記「物資配付対象人数」への配付を予定しています。提供個数算定の目安としてください。  
※味、種類等は問いません。

必要物資(例)								
おにぎり, パン類, カップ麺, 飲料水, 牛乳, 粉ミルク, 缶詰(イージーオープン)など								
項目	提供可能 品目	提供可能 個数(食)	提供可能 日時			受取場所	備考	
食料品				月	日	時		
				月	日	時		
				月	日	時		
				月	日	時		
				月	日	時		
				月	日	時		
				月	日	時		
				月	日	時		
				月	日	時		
備考								

回答者	
回答日時	
担当連絡先	
連絡事項	

佐川急便株式会社 様

三 原 市 長

業 務 依 頼 書

「災害時における救援物資の輸送等に関する協定」第4条の規定に基づき、次のとおり依頼します。

1 物資の荷捌き業務に関する荷役の提供と指導者の派遣

作業 場所	施設名		
	住 所		
	連絡先	担当者氏名	TEL FAX
取り扱い物資	品目	数量	
	品目	数量	
	品目	数量	
	品目	数量	
	品目	数量	

2 物資の荷捌き業務に必要なとなる機器の貸与とその操作者の派遣

搬送先	施設名		
	住 所		
	連絡先	担当者氏名	TEL FAX
貸与機器 (該当する機器に○)	ロールボックス		
	平パレット		
	フォークリスト (操作者含む)		
	(その他)		

訓 練
-----

## 3 物資の輸送

搬送元	施設名	三原市役所	
	住 所	三原市港町三丁目 5 番 1 号	
	連絡先	担当者氏名 三原市災害対策本部	TEL 0848-67-6066 FAX
搬送先	施設名	三原市立 宮浦中学校 体育館	
	住 所	広島県三原市宮浦 5 丁目 29 番 1 号	
	連絡先	担当者氏名  三原市危機管理課 ○○	TEL ○○ FAX
搬送物資	品目	アルファ米 (50 食入)	数量 2 箱
	品目	ビスケット (60 食入)	数量 2 箱
	品目	水 (2L×6 本入)	数量 12 箱
	品目	水 (500ml×24 本入)	数量 3 箱
	品目		数量

## 4 物資集積拠点としての営業所等の活用

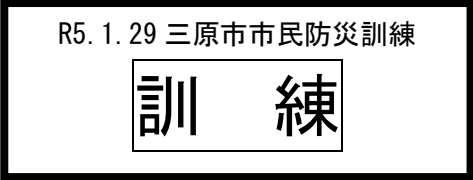
なし

## 5 期間

令和 5 年 1 月 29 日 (日) 11 時 30 分に宮浦中学校体育館外へ輸送を依頼します。

## 6 その他、甲が必要と求める事項

可否の回答は、メールによりご回答ください。



城南運輸有限公司 様

三 原 市 長

業 務 依 頼 書

「災害時における救援物資の輸送等に関する協定」第4条の規定に基づき、次のとおり依頼します。

1 物資の輸送

搬送元	施設名	三原市役所	
	住 所	三原市港町三丁目5番1号	
	連絡先	担当者氏名 三原市災害対策本部	TEL 0848-67-6066 FAX
搬送先	施設名	三原市立 宮浦中学校 体育館	
	住 所	広島県三原市宮浦5丁目29番1号	
	連絡先	担当者氏名 三原市危機管理課 ○○	TEL ○○ FAX
搬送物資	品目	アルファ米(50食入)	数量 2箱
	品目	ビスケット(60食入)	数量 2箱
	品目	水(2L×6本入)	数量 13箱
	品目	水(500ml×24本入)	数量 4箱
	品目		数量

2 物資集積拠点としての営業所等の活用

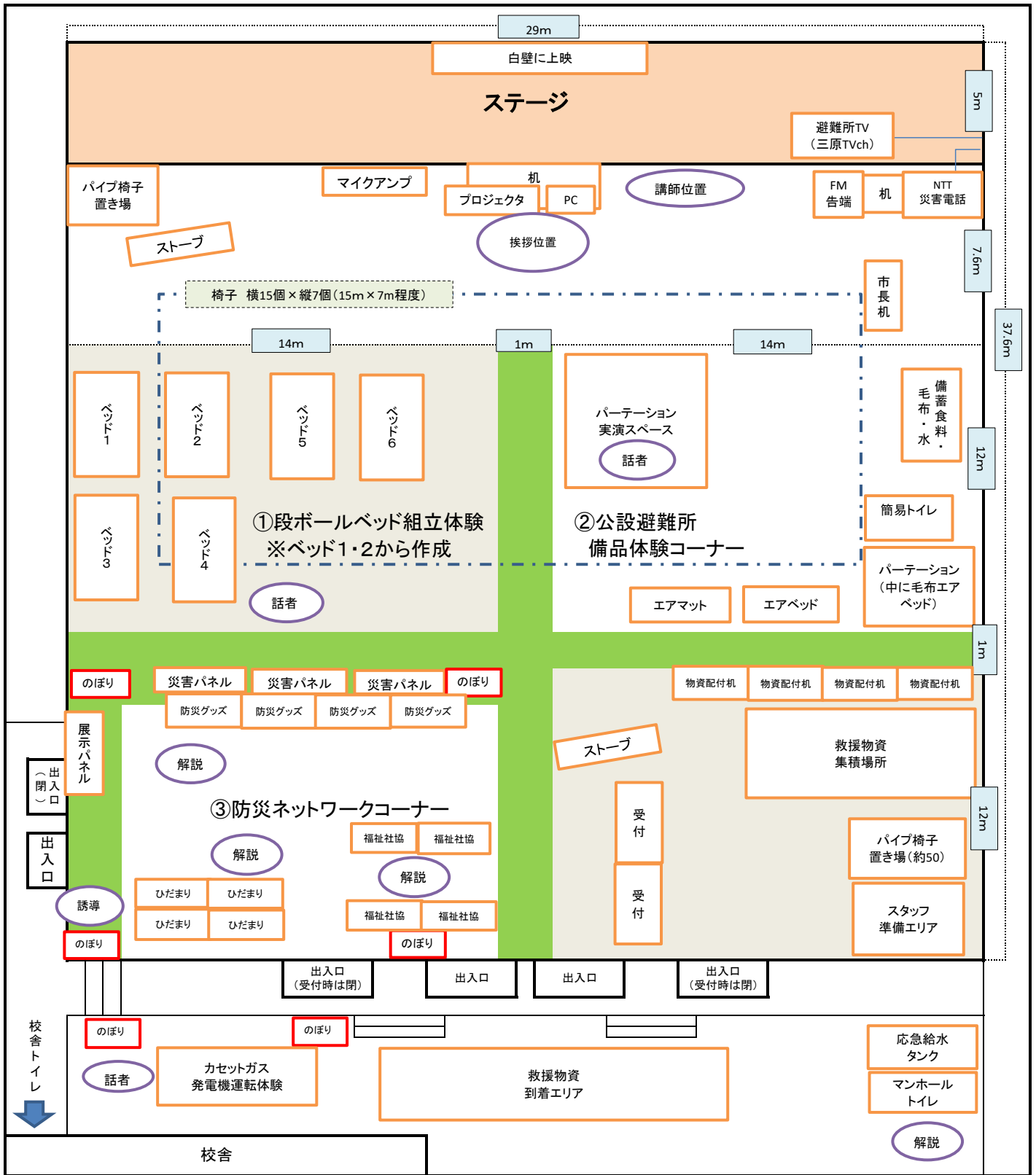
なし

3 期間

令和5年1月29日（日）11時30分に宮浦中学校体育館外へ輸送を依頼します。

4 その他、甲が必要と求める事項

可否の回答は、メールによりご回答ください。







## 市民防災訓練を実施します

～訓練のねらい～

## 令和4年度三原市市民防災訓練

～平成30年7月豪雨災害を忘れない～

令和5年1月29日(日) 9:00～12:00

主会場：宮浦中学校体育館

(宮浦五丁目29番1号)

## 訓練のねらい

- 1 市民  
実際の避難や避難所備蓄品を知ることで、避難の際に必要な持出品を確認するなど、具体的な避難のイメージを持ってもらう。
- 2 自主防災組織
  - 地域住民への避難の呼び掛け方法の確認
  - 市職員と協同して避難所の運営を体験
- 3 三原スタイル参加企業・団体
  - 避難・ライフライン情報の共有，市民への発信方法の確認
  - 救援物資の輸送など，災害時の企業・団体の行動を確認



避難所体験のイメージ

(R2三原市防災ネットワーク体験会)

## 市民防災訓練について (H29年度から毎年実施)

今回は6回目の開催 (実地訓練は3年ぶり)

## 市民防災訓練を実施します

～訓練のスケジュール～

## 主なスケジュール

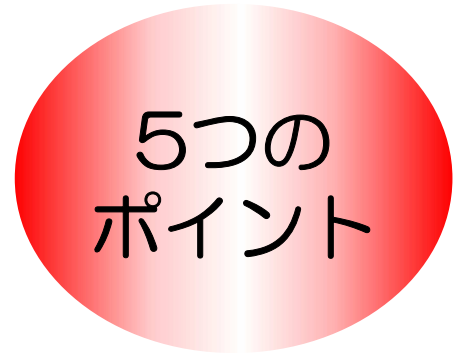
時刻	内容
9:00	<b>【警戒レベル4】避難指示 訓練発令</b> ※FM告知端末と屋外スピーカーから、最大音量で放送が流れます。 ※メール配信システム，市公式SNS，市HPでも避難情報を配信。
9:00～9:50	市民避難訓練 (宮浦中学校または地域で開設する避難所へ)
9:50	三原市長 あいさつ
9:55～10:25	防災講演会「命と暮らしを守るために ～ひろしまマイ・タイムラインづくり～」 講師：三原市防災士ネットワーク 会長 竹原 茂 さん
10:25～11:30	3つの体験コーナー ①段ボールベッド組立体験 ②パーテーション，エアベッドなどの体験 ③防災グッズ，アレルギー対策，カセットガス発電機 (障害のある人のための物品)，平成30年7月豪雨災害パネル等の展示・説明 ※その他，応急給水タンク，マンホールトイレの展示
11:30～11:55	救援物資運搬及び配付訓練 (水・非常食など)
12:00	訓練終了

大雨により  
避難指示発令！※防災講演・避難所体験は  
宮浦中学校で実施

# 市民防災訓練を実施します

～訓練の内容～

- 1 避難情報・ライフライン情報の発信訓練
- 2 市民避難訓練
- 3 避難所運営訓練
- 4 防災講演・避難所体験
- 5 救援物資の輸送訓練



# 市民防災訓練を実施します

～ポイント① 情報発信訓練～

## 1 避難情報・ライフライン情報の発信訓練

### 9:00 避難情報

発信者：市災害対策本部

### 10:00 ライフライン情報

発信者：中国電力ネットワーク(株)、  
広島ガス(株)、三原市水道部



FM告知端末、屋外スピーカー  
メール配信、市公式SNS、市HP

三原テレビ放送(株)、(株)FMみはら

緊急放送

イオンテール(株)、(株)フジ、(株)フレスタ  
マックスパリュ西日本(株)

店内放送

道の駅みはら神明の里、道の駅よがんす白竜  
三原ホテル旅館同業組合

店内等掲示

生活協同組合ひろしま、(株)八天堂  
城南観光(有)

事業所掲示

市災害対策本部

メール  
SNS・HP

(株)テレビ新広島、広島テレビ放送(株)

※通信訓練のみ  
(協定締結先)

市民

## 市民防災訓練を実施します

### ～ポイント② 市民避難訓練～

## 2 市民避難訓練

午前9時に発令される避難指示を受けたら、  
宮浦中学校または自主防災組織が開設する避難所へ避難開始

### (1) 自主防災組織による避難の呼び掛け実施

- ・新倉ハイツ防災会（電話連絡・個別訪問）  
→そのほか、宮浦中学校周辺に住む人は、  
**宮浦中学校へ避難**

### (2) 自主防災組織が避難所を訓練開設

- ・上徳良コミュニティホーム（大和町 上徳良自主防災会）
- ・吉田コミュニティホーム（久井町 吉田区生活安全推進協議会）
- ・黒郷コミュニティホーム（久井町 黒郷自主防災組織）ほか 計6か所  
→**地域の方は、これらの避難所へ避難**



宮浦中学校（市が開設する避難所）

## 市民防災訓練を実施します

### ～ポイント③ 避難所運営訓練～

## 3 避難所運営訓練

宮浦中学校で、**避難所の運営を、**  
**避難した自主防災組織と市職員の協同で実施**

**【自主防災組織】** 新倉町防災会  
新倉ハイツ防災会  
宮浦中央町内会防災会

### 【内容】

- ・避難者の受付  
（体調確認、避難者カードの記入など）
- ・避難者数の集計
- ・市災害対策本部への避難者数報告（インターネット利用）
- ・市災害対策本部への救援物資の要請連絡
- ・避難所へ到着した救援物資の運搬及び配付（避難者にも協力を呼び掛けて実施）



避難所受付のイメージ  
（R2三原市防災ネットワーク体験会）



# 市民防災訓練を実施します

～ポイント④ 防災講演・避難所体験～

## 4 防災講演・避難所体験

### 【内容】

9:50 あいさつ（三原市長 岡田吉弘）

### 9:55～ 防災講演会

**「命と暮らしを守るために ～ひろしまマイ・タイムラインづくり～」**

**講師：三原市防災士ネットワーク 会長 竹原 茂さん**

（私たちが災害から、いつ、どのように避難するべきかということについて）

10:25～ 避難所体験コーナー（次スライドに続く）

その他、

- ・三原テレビ・FMみはらの訓練放送を避難所で視聴・聴取
- ・平成30年7月豪雨災害の写真パネル展示
- ・マンホールトイレや応急給水タンクの展示



宮浦中学校体育館 会場イメージ

# 市民防災訓練を実施します

～ポイント④ 防災講演・避難所体験～

## 避難所体験コーナー（10:25～11:30）

避難所がどのような場所であるかを実際に体験し、

**日ごろからどんな備えをしておくべきなのかを考える。**

※参加者が3班に分かれて、3つのコーナーを20分ずつ体験

### ① 段ボールベッド組立体験

避難所が長期化した時などに使用される、段ボールベッドの組立体験

### ② 市の避難所にある備品体験

テント型パーテーション、エアベッド、簡易トイレなど、市の避難所に備蓄する物品を体験

### ③ 防災ネットワークコーナー

三原市防災士ネットワーク、三原アレルギーの会ひだまり、三原市福祉のまちづくり推進協議会などによる、防災グッズ、アレルギー・障害のある人のための備えなどの展示解説



段ボールベッド組立のイメージ  
(H28防災キャンプ2016in二中)



防災グッズ紹介のイメージ  
(R2三原市防災ネットワーク体験会)

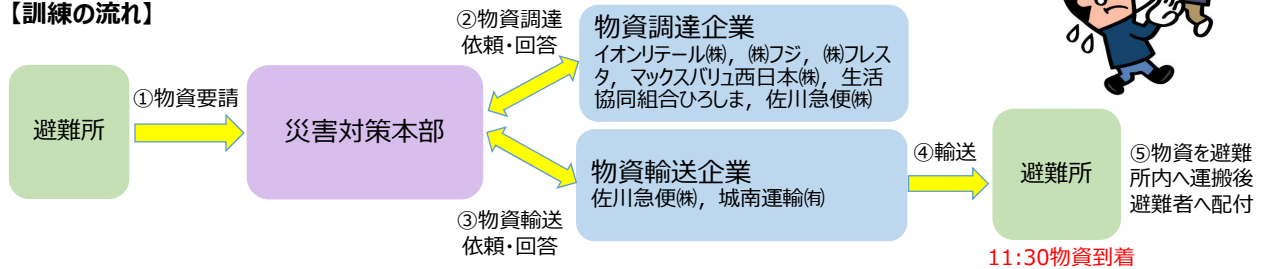
### 5 救援物資の輸送訓練

避難所の食料や水などの物資が不足してしまった事態を想定し、  
災害対策本部が「三原スタイル」企業と連携して救援物資を調達し、  
避難所の宮浦中学校に実際に輸送し、避難者へ配付する。

届いた物資は、避難者全員  
で協力して運搬します！



#### 【訓練の流れ】



※救援物資（アルファ米，ビスケット，飲料水，経口補水液）を避難所へ輸送し，訓練後，参加者にサンプルを持ち帰ってもらいます。





# 令和4年度 三原市市民防災訓練

～平成30年7月豪雨災害を忘れない～



近年、全国で自然災害がより激しく、頻繁に発生するようになり、三原市でも、平成30年7月豪雨災害の際には市内各所で多大な被害が発生し、尊い命が失われました。

こうした災害からかけがえのない命を守るためには、平常時から適切な備えを行い、適切なタイミングで安全な場所に避難することが大切です。

三原市では、実際に起きた災害の教訓を決して風化させず、災害時の「避難」について、「自分ごと」として考える機会とするため、市民防災訓練を開催します。

## 【訓練の想定】

前日の地震発生で地盤がゆるんでいるところに大雨が重なり、市内の河川がはん濫危険水位に到達し、土砂災害警戒情報も発表されました。

このため、三原市災害対策本部から、



**午前9時00分、市内全域を対象に**

**【警戒レベル4】避難指示を、訓練発令します。**

※FM告知端末と屋外スピーカーからは、最大音量で放送が流れます。

令和5年  
1月29日  
(日)

## 【市民防災訓練の参加方法】（午前9時の避難情報を受け取ったら…）

### ◎宮浦中学校周辺にお住まいの人

- ・宮浦中学校を避難所として実際に開設します。（駐車場：グラウンド）
- ・非常用持出品等を準備し、地域で声を掛け合い、宮浦中学校へ避難しましょう。
- ・宮浦中学校では、9時50分から「避難所体験」を開催します。（詳細は裏面）

### ◎その他の地域にお住まいの人

- ・地域の自主防災組織が避難所を訓練開設する場合、そちらへ避難しましょう。（各自主防災組織の案内に従って、避難訓練に参加してください。）
- ・宮浦中学校以外の公設避難所は開設しませんので、地元で避難所の訓練開設がない場合は、宮浦中学校へ避難し、「避難所体験」に参加してみましょう。



## ☆市民避難行動促進「三原スタイル」構築連携協議会と共同で訓練します！

本訓練には、三原市民の効果的な避難行動促進に取り組んでいる「三原スタイル」連携企業・団体も参加します。

- 避難情報やライフライン情報の店舗等での発信訓練
- 救援物資の調達・輸送訓練
- 避難所体験での防災用品や災害パネル展示 などの実施を予定しています！

裏面へ続く



## 【避難情報の受け取り方について】

三原市からの避難情報は、音声放送は、FM告知端末、屋外スピーカー（市内58カ所）、FMみはら（87.4MHz）から流れます。

登録している人には、三原市メール配信システムや市公式SNS（LINE、Facebook、Twitter）でも避難情報が届きます。

実際の災害が起こったときにも、三原市からの防災情報を問題なく受け取れるよう、この訓練をきっかけに、情報の受信手段を確認しておきましょう。



○FM告知端末について



○メール配信システム



○市公式 LINE



○市公式 Facebook



○市公式 Twitter

## 【避難所体験（宮浦中学校）について】

宮浦中学校では、9時からの避難訓練を完了した後、9時50分から12時ごろまで、「避難所体験」を開催します。（駐車場：グラウンド）

避難所がどのような場所かを実際に体験し、日ごろから自分がどんな備えをしておくべきかを考えるための一助としてください。

※9時50分以降に避難してこられた人も、体験会に参加できます。

### ◎主な内容（予定）

- ・ 避難所の受付体験 (9:00～)
- ・ ミニ防災講演会 (9:55～)
- ・ 市の避難所にある備品の体験 (10:30～)
- ・ 段ボールベッドの組立体験 (10:30～)
- ・ 役立つ防災グッズの紹介 (10:30～)
- ・ 避難所のアレルギー対策の紹介 (10:30～)
- ・ 救援物資の運搬・配付体験 (11:30～)



☆体育館で開催するので、スリッパと靴袋を準備し、温かい服装でお越しください。  
☆参加者には、市が備蓄する食料や飲料水（2L）などをサンプルとしてお配りします！（サンプル持ち帰り用の、大きめの袋をご持参ください。）

※新型コロナウイルス感染症の影響や大雨、大雪など天候状況により訓練中止の場合があります。（小雨決行）  
※訓練中止を決定した場合、メール・SNS等でお伝えします。また、当日8時30分ごろ放送でもお知らせします。

【問い合わせ先】 三原市 危機管理課

電話：(0848) 67-6066 FAX：(0848) 67-6164

